

市民プール 本日は貸切パーティー

川沿いの道をまっすぐ山に向けて歩いていくと、街の隅の方に小さな野球場、そしてその横に市民プールがある。

散歩がてら、俺はプールの横のガラス張りの壁から中を覗いてみた。

25メートルのプールを挟んで向こうの廊下に白い看板がしてあった。

顎髭の男性が笛を吹いている。

“本日は若い男女の貸切です”

何の変哲もない・・・・・・そう思ったかった俺ではあるが・・・・・・。

目を丸くせざるを得なくなった。

次々と、男女たちが衣服を脱ぎ始めたではないかっっ！！？

そのまま俺は、2時間ほどガラス張りの壁のそばの木陰に隠れてその光景を見ていた。

若い男女たちは、どうやらまだ学生らしい。

その証拠に、脱ぎ捨てられてプールのコンクリートの上に放り投げられた水着は全て競泳水着。

裸で泳いでいるのだから俺が目丸くするのも無理はない。

プール入り口のドアがゆっくり開いた。

インストラクターの女性が入ってきた……。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)